Close Up YNU
大学との「絆」をより深める、コミュニティマガジン
2023
Community magazine for YNU members.

妹島名誉教授と都市イノベーション研究院の西澤教授が

第33回高松宮殿下記念世界文化賞建築部門を受賞

2022年9月15日、妹島和世横浜国立大学名誉教授と都市イノベーション研究院Y-GSAの西澤立衛教授が、第33回高松宮殿下記念世界文化賞 建築部門を受賞しました。

高松宮殿下記念世界文化賞は、絵画、彫刻、建築、音楽、演劇・映像の各分野で、世界的に顕著な業績をあげた芸術家を称え、常陸宮殿下、同妃殿下ご臨席のもと授与されるものです。

妹島名誉教授と西澤教授は、国際的に活躍する建築家ユニットSANAAを立ち上げ、斬新な建築デザインで新世代の牽引役を務め、世界各地でそのプロジェクトが進行しています。

また、上記受賞を含むお二人の数々の功績を称え、2023年3月13日、本学において妹島名誉教授へ横浜国立大学名誉博士号、西澤教授へ令和4年度優秀研究者賞「学長特別賞」の授与式を行いました。

横浜国立大学名誉博士は、学術文化に寄与した功績が特に顕著である方へ授与するもの、優秀研究者賞「学長特別賞」は、研究活動等に多大な功績があったと認められる研究者を表彰するものです。

授与式では、梅原出学長からの学位記、表彰状の授与と記念品の贈呈が行われ、お祝いの言葉が贈られました。式典終了後は梅原学長をはじめ、三宅理事（研究・財務担当）・副学長、佐土原副学長（地域担当）、勝地都市イノベーション研究院長、都市イノベーション研究院の関係教員らとともに懇談の場が設けられました。

代表作の一つである「金沢21世紀美術館」

SANAA（サナア、Sejima and Nishizawa and Associates）

妹島和世、西澤立衛による建築家ユニット。1995年東京にて設立。2004年ヴェネチアビエンナーレ国際建築展　金獅子賞、2006年日本建築学会賞、2010年プリツカー賞など数多くの賞を受賞、国際的に高く評価されている。主な作品として、「金沢21世紀美術館」（2004年）、「ニューミュージアム」（2007年、アメリカ）、「ルーヴル＝ランス」（2012年、フランス）など多数の建築を手掛けている。

妹島 和世（せじま・かずよ）

1956年	茨城県生まれ
1981年	日本女子大学大学院修了 伊東豊雄建築設計事務所入所
1987年	妹島和世建築設計事務所設立
1995年	西澤立衛と SANAA 設立
2017年	横浜国立大学大学院 Y-GSA 教授（～2022年）
2022年	横浜国立大学名誉教授

西澤 立衛（にしざわ・りゅうえ）

1966年	神奈川県生まれ
1990年	横浜国立大学大学院修了 妹島和世建築設計事務所入所
1995年	妹島和世と SANAA 設立
1997年	西澤立衛建築設計事務所設立
現在	横浜国立大学大学院 Y-GSA 教授

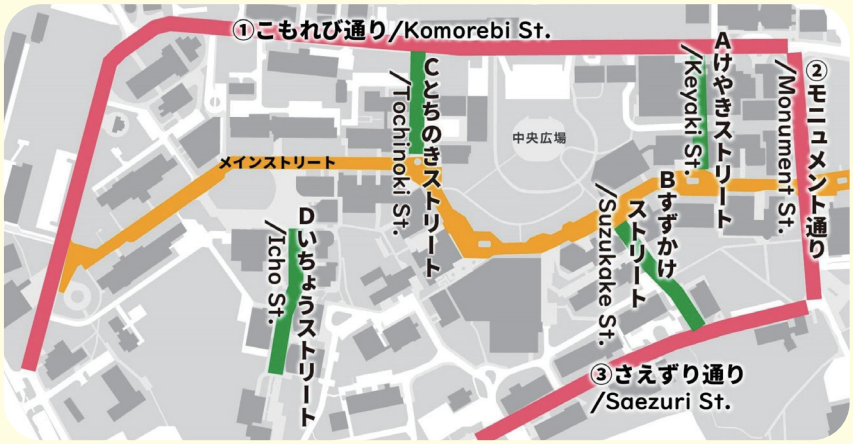
常盤台キャンパスストリート名称決定!

キャンパスの個性、親しみの向上を期待するとともに、道案内の際の利便性向上を目的とし、常盤台キャンパスの主要な通路について、下記の2つの組み合わせにおいて学内で名称募集を行いました。

1. 公共バスの通行路にもなっている3つの大通り(①～③)

2. キャンパス計画における主要な4つの歩行路(A～D)※

ご応募いただいた作品について、本学に在籍する学生・大学院生、教職員によるWeb投票を行い、延べ80件に上る応募の中から投票の結果1位となった作品をもとに、名称を決定しました。



1. 大通り　①：こもれび通り ／ Komorebi St.　②：モニュメント通り ／ Monument St.
③：さえずり通り ／ Saezuri St.

2. 主要歩行路　A：けやきストリート ／ Keyaki St.　B：すずかけストリート ／ Suzukake St.
C：とちのきストリート ／ Tochinoki St.　D：いちょうストリート ／ Icho St.

投票結果

1. 大通り ▶▶▶ 1位（得票数 17 票）

応募者	理工学部2年・森　響（もり　ひびき）さん
作　品	①：こもれび通り　②：モニュメント通り ③：さえずり通り
コンセプト	樹木が茂り道路に木漏れ日が差す様子が印象的であるこもれび通り、本学のランドマークとなるモニュメント前を横断するモニュメント通り、鳥や動物との共生を実感させるさえずりが印象的なさえずり通りと、短めで漢字を用いない親しみやすい名称を提案する。

2. 主要歩行路 ▶▶▶ 1位（得票数 14 票）

応募者	経営学部4年・本久　友基（もとひさ　ともき）さん
作　品	A：けやき　B：いちょう　C：すずかけ D：とちのき
コンセプト	みなとみらいで実際にある通りの名前をモチーフにした。横浜への愛着も沸くし、場所を対応させているので通りの名前も覚えられるようになる。 ※応募者と相談の上、最終案に変更をしています。

「YOXO FESTIVAL 2023」へ出展しました!

日頃の研究開発や学習の成果を発表し、組織や領域を越えてイノベーションを生み出すきっかけの場となるよう横浜市が主催したイベント、「YOXO FESTVAL 2023 ～横浜でみらい体験～」に出展。

このイベントは、「スタートアップによる技術実証、企業や学校、個人、イノベーター、クリエーターによる「未来」をテーマとした展示(ロボット、モビリティ、XR等)、デモやワークショップなど、見て・触って・あっと驚くユニークな未来技術が体験できる」場として、2023年1月27日、28日の2日間にわたり開催されました。

はじまりの挨拶では、本学の学長でもある梅原 出「横浜未来機構」会長より開会の言葉が述べられ、9会場に設けられた60以上のブースでは、参加者が気軽に立ち寄りさまざまな体験をしていく姿がみられました。

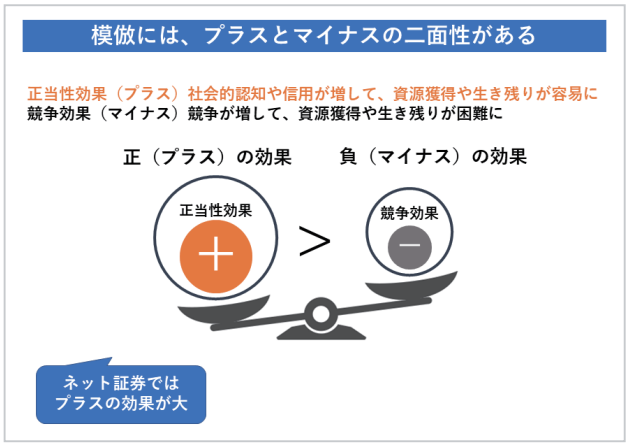
本学からは環境情報研究院 島圭介准教授「ヒトの不思議なメカニズムを体験～立位年齢®測定など～」と工学研究院 太田裕貴准教授「柔らかい機械：生体センサーとウェアラブルデバイス」がそれぞれブースを出展し、横浜国立大学の研究成果を社会へ発信する機会となりました。

上／島研究室「ヒトの不思議なメカニズムを体験～立位年齢®測定など～」
下／太田研究室「柔らかい機械：生体センサーとウェアラブルデバイス」

インターネットビジネスにおける競争戦略など、経営戦略論の研究を行っている高井 文子教授と、
地盤材料を研究対象に、地盤力学の限界を克服できるような挑戦的なテーマに取り組んでいる菊本 統教授をご紹介します。

新たな市場の競争でいかにして勝つか

大学院国際社会科学研究院　高井 文子 教授



インターネットの誕生はさまざまな業界に影響を与えましたが、なかでも証券業界にもたらした変化はとても大きなものでした。90年代までシェアの多くを占めていた三大証券を、新興のネット証券があっという間に抜き去ってしまったのです。ではなぜ、商品の差別化が難しく保守的な業界で、勝つことができたのでしょうか。

結論から言えば、インターネットが登場してから、いち早く正しくターゲットを見極めた企業が、ターゲットが喜ぶ施策を提供したからです。これだけでは、「なんだ、当たり前だろう」と思うでしょう。ただ、実際には、様々なしがらみや制約によって、正しい戦略が分かったとしても、それを実行することは難しいのです。

さらに、このネット証券という新たな市場が急速に成長したのは、いち早く正しい戦略を見極めた企業と、その戦略を模倣した企業がともに、業界を盛り上げることに成功したからです。いわゆるネットビジネスに限らず、新しく立ち上がったビジネスは、社会に認知され受け入れられるのに時間がかかります。ここでネット証券は、小さい市場をめぐった競争で疲弊するのではなく、共に戦うことで業界の立ち上がりを早めることに成功したのです。つまり、ネット証券の「正しい戦略」をとる企業が一気に増えたことが、その良さや安心感に惹かれた顧客の急増につながって、模倣の「プラスの効果（正当性効果）」が、「マイナスの効果（競争効果）」よりも上回ったという訳です。

こうしたメカニズムが、これから立ち上がる新たな市場や企業にも戦略のヒントをもたらすのではないかと思っています。

TAKAI Ayako
大学院国際社会科学研究院
研究分野：
経営戦略論、イノベーション
マネジメント、経営情報論

一粒の砂の動きから、地盤の崩壊まで

大学院都市イノベーション研究院　菊本 統 教授

豪雨で土砂崩れが起きたり、地震で地盤が液状化したり、地盤の変状は人々の生活に大きな被害をもたらします。このような地盤の変形や破壊は、土粒子一つずつの運動に支配されています。私のグループでは、地盤の内部で多数の土粒子が互いに接触し、滑り、回転する運動のようすを精度良く特定する分析技術を開発し（図1）、地盤が壊れるメカニズムの解明や、地盤の変形や破壊を予測するシミュレーション技術の高度化に取り組んでいます。

ところで、道路や鉄道は盛土や切土斜面、トンネル、高架橋などいろいろな構造物でできています。盛土や切土斜面は土でできた土構造物で、トンネルや高架橋も地盤に支えられているので、地盤の安定性や建物をささえる力が大事です。日本の道路や鉄道は長い年月使用される中で風化による劣化が進み、変状をきたしている構造物も出ていて、メンテナンスが必要になっています。そのことから、地盤の風化メカニズムの解明と切土やトンネルのメンテナンスの合理化を目指して、高速道路各社と共同で調査研究を進めています（図2）。

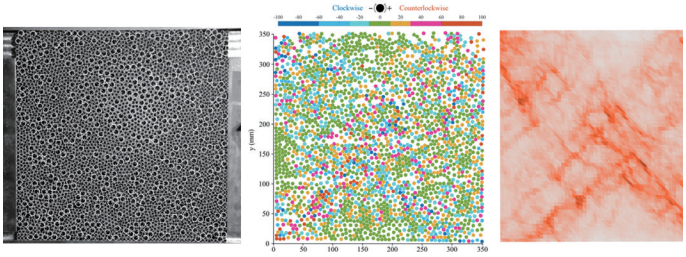


図1

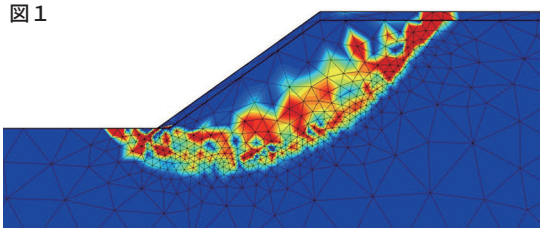


図2

土は固体、液体、気体が混ざりあっているので複雑な振る舞いをしますが、研究対象としてはチャレンジングで興味深い材料です。私のグループでは、これまでに解明されていない土の変形や破壊のメカニズムを探り、より簡潔で数少ない仮定で合理的に再現する理論を開発していきたいと考えています。

KIKUMOTO Mamoru
大学院都市イノベーション研究院
研究分野：地盤力学、
地盤環境工学、応用力学

部活動・サークル紹介

Windsurfing & Wing Foil Dream Cup 2022にて ウィンドサーフィン部員が2位入賞!

“ウィンドサーフィン”と聞くと、「なんとなくイメージは浮かぶけど、詳しくはよくわからない」「サーフィンとどう違うの?」と思う方も多いかもしれません。どんなスポーツなのでしょうか?

ウィンドサーフィンとは、簡単に言うとヨットとサーフィンを融合・発展させたマリンスポーツで、サーフボードのようなボードにヨットのセイル（帆）をつなげた道具を使用し、『風に乗って』水面を滑走します。その日の海の状態や風速・風向などを考えながら走る必要があり、頭も体も使う、とても奥の深いスポーツです。

横浜国立大学ウィンドサーフィン部は、現在40人ほどの部員数で大変活発に活動している団体で、発足当初のおよそ4倍の規模となりました。

2022年7月16日、17日に津久井浜で開催されたWindsurfing & Wing Foil Dream Cup 2022では、1年生の塚本悠月さんが2位入賞を果たしました。2021年のプレ新人戦では4名の部員が入賞し、11名の部員が通過。インカレ新人戦でも2年生の菊地智代さんが5位入賞するなど、勢いに乗っている部活動です。

これからも部活一丸となり、結果を残していきたいと意気込んでいます!

第29回 スポーツチャンバラ全日本学生選手権大会で スポーツチャンバラ翔剣会メンバーが多数入賞!

2022年12月3日、4日に小田原アリーナで開催された第29回スポーツチャンバラ全日本学生選手権大会に、関東予選を突破したスポーツチャンバラサークル「翔剣会」のメンバーが参加しました。全国から予選を勝ち抜いてきた選手が出場する中、団体戦では男子ベスト8、個人戦でも5名と多くのメンバーが入賞を果たしました。特に1年生の金城愛莉さんは、全国の新人女子の中で1人しか獲得できないグランドチャンピオンを獲得。今後の更なる活躍が期待されます。

スポーツチャンバラは、空気の入った剣で相手の身体を先に打ったら勝ちという日本発祥のシンプルなスポーツで、「昔あそび」としてのチャンバラごっこが基になっています。安全な用具を使用することで全国・世界でも世代を超えて広く受け入れられ、現在の国内競技人口は30～40万人と言われています。

2015年に設立した「翔剣会」は、スポーツチャンバラの練習や大会参加などをしている、フェリス女学院大学と横浜国大とのインカレサークルです。今大会では、各々が日々の練習の成果を存分に発揮することができました。今後の大会に向けて、これからも日々鍛錬に励みます。

キャンパス・サポーター功労賞の表彰

2023年2月13日、学長室において、キャンパス・サポーターの表彰式を実施しました。

本年度、特に積極的に活動に参加し本学の障がい学生支援に大きく貢献した3名の学生に対して、ダイバーシティ戦略推進本部長である梅原学長から功労賞が授与されました。

続いて、学長をはじめとする関係教員と受賞学生との間で、ダイバーシティについて意見交換が行われました。

受賞者（写真左から）
理工学部　冨田拓人さん
国際社会科学府　中野基生さん
教育学部　小林萌さん

モダンダンス部が全日本高校・大学ダンスフェスティバルにおいて「神戸市長賞」を受賞

横浜国立大学モダンダンス部は、2022年8月に開催された第34回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）において「神戸市長賞」を受賞しました。受賞作品は「I ～アルベルト・ジャコメッティの彫像にみる～」で、今大会の受賞により、前年度の「奨励賞」受賞に続き2年連続の入賞となりました。全日本高校・大学ダンスフェスティバルは創作ダンスの甲子園といわれる大きな全国大会であり、「このような大会で受賞出来たこと、本当に嬉しく思っております。私たち横浜国立大学モダンダンス部を支えてくださった全ての方々に心より感謝申し上げます。」とモダンダンス部から喜びと感謝のコメントが寄せられました。

《受賞作品について（コメント）》
「削ぎ落とされ、細くなる。それでも確かに存在する。」
芸術家アルベルト・ジャコメッティが造る、針金のように細い彫像から、私達は作品を創作しました。細くとも立ち続ける彫像は、日々衝突し削ぎ落とされても、揺るがず生きようとする私たち自身と重なるのではないか。この作品を通して、「存在すること」という人間の本質に迫りました。

第18回神奈川産学チャレンジプログラムで本学の5チームが入賞!

2022年12月12日に、第18回神奈川産学チャレンジプログラムの表彰式がパシフィコ横浜で開催されました。

神奈川産学チャレンジプログラムは、神奈川県内の大学と社団法人神奈川経済同友会に加盟する企業及び団体が中心となって行う学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペです。企業及び団体が抱える経営課題をテーマにあげ、これに対して学生チームは研究し実効性のある解決策やアイデアを研究レポートとして提示します。

第18回では、神奈川県内の19大学から182チームが参加し、52チームが優秀賞、24チームが最優秀賞を受賞しました。

本学からは6チームが参加し、3チームが優秀賞、2チームが最優秀賞を受賞しました。

《最優秀賞受賞チームのテーマ》
◆テーマ：10 ～ 20代の方々が五感を使って楽しめるような沿線活性化施策の提案（江ノ島電鉄㈱）
◆テーマ：バス・タクシー利用促進策の提案～「新しい生活様式」を踏まえ～（神奈川中央交通㈱）

本学の研究情報発信の取組み紹介

SHIFT! YNU

津村 明子 研究推進機構
准教授／リサーチ・アドミニストレーター

研究推進機構では近年、次世代の研究者育成の観点で学生に対する取り組みの充実化を図っています。令和4年度は新たな試みとして「ロジカルシンキング講座」を開催しました。日本学術振興会の特別研究員への採択を目指して、自身の研究内容を説明する申請書作成に奮闘する大学院生が対象です。講座名どおり、単なる申請書の書き方のコツよりも、研究の構想のための思考整理や、論理の構造化の手法をワークショップ形式で学んでもらいました。参加者からは、「ロジックの組み立て方、また論理が飛躍している点の見つけ方」や「人に伝わる説明、説得力のある説明」が理解できたといった感想をいただくなど、大変好評な企画となりました。

研究者としてだけではなく企業等へ就職する場合であっても、このような“考え伝える力”は役に立ち、人生の支えにもなるものです。スキルアップしたYNU卒業生たちが社会で活躍することを願っています。

横浜国立大学 創基150周年・開学75周年 記念募金事業 ご支援のお願い

本学は、明治7年に神奈川県内に設置された小学校教員養成所を起源とし、令和6年には、創基150周年、開学75周年を迎えます。

この重要な節目にあたり、「横浜国立大学 創基150周年・開学75周年基金」を設立し、新たなまちづくりと未来創生に貢献する“YNU新湘南共創キャンパス”創設事業、日本初の試みであり、本学及び国内他機関等の多様な知を結集した文理融合による台風科学技術研究センター支援事業、世界で活躍する優れた人材の養成と体育施設の一体的改修による学生支援事業、併せて、100周年を迎える社会科学系、150周年を迎える教育学部の記念事業を実施することにいたしました。

創基150周年を次の世紀に向けた発展の起点とし、横浜国立大学が目指すビジョン 1.「世界水準の研究大学を目指す」、2.「地域の様々な機関と連携して未来を創る」、3.「世界で活躍できる優秀な人材を輩出する」を実現する為に、本学の決意にご賛同いただき、ご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

横浜国立大学 創基150周年・開学75周年記念募金事業概要

【募集期間】2023年4月～2028年3月31日

【目標額】総額5億円

【対象プロジェクト】

①横浜国立大学 創基150周年・開学75周年記念事業
（YNU新湘南共創キャンパスの創設・台風科学技術研究センター支援・学生支援）
②教育学部創基150周年記念事業
③社会科学系創立100周年記念事業

【募集金額】個人／1口1万円　団体・法人／1口10万円
※以上の金額にてご寄附のお願いをさせていただいておりますが、金額に関わらず、ありがたくご寄附を頂戴いたします。

【ご寄附の方法】横浜国立大学基金WEBサイトからクレジットカードにてご寄附いただけます。

スマートフォンからもお申し込みいただけます。
※払込書でのご寄附をご希望の方は右の連絡先までお問合せください。

横浜国立大学
卒業生・基金担当
（名称が変わりました!）
E-mail：ynu.kikin@ynu.ac.jp
TEL：045-339-4443
（月～金 9:00～17:00）

横浜国立大学公式ウェブサイト　学生インタビュー「YNU学生起業家のリアル」のご案内

横浜国大に在学しながら起業し、自分の可能性を追い求める若き起業家の学生たち。その飽くなき探求心の源を、動画とテキストでお伝えするインタビューコーナーです。ぜひご覧ください。

YNU学生起業家のリアル（学生インタビュー紹介ページ）
https://www.ynu.ac.jp/special/entrepreneurspirit/

卒業生・修了生の皆さまへ　データ登録のお願い

本学では卒業生との連携を深めることを目的として、卒業生・修了生の方々に連絡先、就職（進学）先等のウェブによるデータ登録をお願いしています。登録データの使用内容は以下のとおりとなります。

1. 大学最新情報案内のメールマガジンの配信（月1回程度）※希望者のみ
2. 本学ウェブサイトや広報誌等の卒業生インタビューのお願い
3. 大学、校友会、同窓会からの各種お知らせの送付

本趣旨と使用内容をご理解の上、ご賛同いただける場合は、ご登録をお願いします。

登録方法
パソコンより下記ページにアクセスしてください。
詳しくはこちら
横浜国大ウェブサイト →「卒業生」→「卒業生・修了生データ登録」

Close Up YNU 2023
編集・発行　横浜国立大学　総務企画部　リレーション推進課
お問い合わせ　〒240-8501　横浜市保土ケ谷区常盤台79-1
TEL：045-339-3027　FAX：045-339-3034　E-mail：press@ynu.ac.jp
2023-0510-32000
YNU PRESS